

令和元年度

支部総会・大懇親会・新会員歓迎会

副支部長 山内 淳 禎

五月十一日(土)の十五時三十分より、ホテル法華クラブ函館において、令和元年度の夕陽会渡島支部の総会が開催されました。

総会は、幕田支部長のあいさつに始まりまして、

ご来賓としてご臨席賜りました夕陽会会長藤川隆様より、ご祝辞をいただきました。その中で、令和の時代と百一年目を迎える夕陽会の今後や卒業生の動向等についてお話しされました。

その後、報告事項、協議事項の説明があり、運営方針に「文化」を加えたことなど、全ての事項について承認されました。

また、役員改選では、小笠原英緒新支部長(大沼小)を始め、八名の新役員が決まり、総会を終了しました。

大懇親会・新会員歓迎会では、



夕陽賛歌の斉唱、新役員紹介、小笠原新支部長の主催者挨拶に続き、北海道教育庁渡島教育局義務教育指導監西田浩人様と渡島教育委員会教育長会会長増川正志様よりご祝辞を賜り、祝杯を夕陽会会長藤川様のご発声により祝宴に入りました。

出席した九名の新会員の自己紹介。毎年恒例の大抽選会。

応援・メール。寮歌の大合唱と会が進みました。特に、応援・メールでは新団員を迎え、息の合った

メールと共に大いに盛り上がりました。

終わりに、福島町教育委員会教育長前田勝広様の乾杯のご発声により、教育の使命を改めて確認し、お開きとなりました。

何かとご多用の中、ご出席くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

◎ 母校開学の精神を確かめ、夕陽会の原点である親睦の和を深めるとともに教育と文化の振興に寄与する。

● 運営方針 ●

一、支部・支会の連携強化

- (1) 会員の同窓意識を盛り上げる。
- (2) 会員相互の助け合いを大切にす。
- (3) 支部と支会、支会相互のつながりを密にする。
- (4) 情報活動を活性化す。
- (5) 支会と連携しながら、同窓の輪を民間へと広げる。

二、会員の向上・援助

- (1) 会員相互の研修活動を促進す。
- (2) 人材の発掘と登用を積極的に進める。
- (3) 新会員(新採用者・渡島管内勤務初経験者)への援助・啓発に努める。
- (4) 退職会員への感謝と激励に努める。
- 三、本部及び他支部との連携
 - (1) 本部との連携を深めて、会の一層の充実・発展を図る。
 - (2) 本部事業への積極的な協力を図る。
 - (3) 他支部との密接な情報交換・連携を図る。
 - (4) 本部からの支援を積極的に求める。

● 事業推進方針 ●

一、支会訪問と支援

- (1) 各支会の総会・会合には積極的に参加し、支部と支会の連携を図る。
- 二、情報・資料の提供
 - (1) 管内及び他支部との情報交換に努める。
 - (2) 本部との情報交換を積極的に進める。

三、「夕陽渡島」の発行

- (1) 親しまれ読みやすい「夕陽渡島」の発行に努める。(年3回発行)

四、研修事業の活性化

- (1) 新会員激励会を開催し、教職への意欲づけを図る。
- (2) 会員研修の促進と研究実践者の積極的推進を図る。

五、退職会員との連携

- (1) 勇退者への「感謝と激励の会」を開催す。
- (2) 夕陽会渡島支部「終身会員」への勧誘を促進す。

- (3) 勇退会員の資料集「勇退者の横顔と足跡」を発行す。
- (4) 勇退会員へ記念品を贈る。

六、本部事業への積極的協力と参加

- (1) 本部主催の行事への積極的参加と協力を行う。
- (2) 本年前納会員への加入のための支援を行う。

七、関係機関との連携・提供

- (1) 関係機関と連携を強化して、事業を推進す。

八、その他

- (1) 主幹教諭昇任者・教頭昇任者・校長採用者、受賞者等へ祝詞等を送付す。
- (2) 夕陽会新採用者が、渡島管内の学校に着任した場合祝詞等を送付す。
- (3) 慶弔関係への対応を迅速に行う。

支会だより

渡島の皆様とともに



五稜支会長
(渡島教育局)
西田 浩人

五稜支会(渡島教育局)は、今年度、西田浩人義務教育指導監、毛利繁和主幹、目黒範和主任指導主事、村上兼人指導主事、野呂宜正指導主事、道幸篤史指導主事の六名の会員で構成されています。

昨今、渡島の子どもの学力・体力については、全国平均との差が縮まり、各学校での取組の成果が確実に表れている状況であり、これもひとえに、渡島管内における学校教育の充実や授業改善の成果であると感じているところです。

さて、今年度、渡島教育局では、「五つの行動指標」のうち「徹底する」に重点を置き、「誰一人として取り残さない」をスローガンとして掲げ、学習指導要領に基づき授業の質の向上を目指して、管内の児童生徒の学力・体力の向上や、豊かな心の育成を図るべく一丸となつて努力しています。

このような中、渡島の同窓の

皆様には、各学校で優れた教育実践に取り組まれるとともに、各種事業の実施や研修会への参加、学校訪問等の教育局の取組に御協力いただいておりますことは、誠に心強い限りであり、日々感謝しながら業務を進めています。

私たちは、引き続き市町教育委員会や各学校と連携し、子どもたちの学力・体力向上に向けた取組を一層推進するとともに、主体的・対話的で深い学びが実現できる授業改善と、望ましい生活習慣の確立に向けて取り組んで参りたいと考えております。

同窓の皆様におかれましては、今後ともより一層の御理解と御協力を賜るとともに、渡島のすべての子どもたちの未来のために、共に手を携え、さらに取組を充実させる所存でありますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

昨年、夕陽会は創立百周年を迎えています。遡ること四年、平成二十六年に百周年を迎えていた母校は、道南地域の強い要望を踏まえて、この年に国際地域学科地域教育専攻を充足させ、国際的視野を身に付けた、質の高い教員の養成を行い、今春、二度目の卒業生を送り出しています。

支会だより

つながりを大切に



鹿部支会長
(鹿部小学校)
佐藤 君博

鹿部町は、勇壮明媚な駒ヶ岳の裾野に広がり、噴火湾に面した気候温暖な町です。昭和五十八年に「村」から「町」になり、人口は昭和六〇年の五千百七人をピークに以降減少したものの、平成六年から平成二十二年にかけて、鹿部町の雄大な自然環境に感動し、定住する人が増えたことにより僅かながら増加に転じていましたが、最近是他市町同様に少子高齢化が進み、現在の人口は、平成三十一年四月一日現在、二千九百三十一人となっています。

基幹産業が漁業で、タコ、カレイ、ホッケが水揚げされる他、サクラマス、昆布、ナマコなどの漁も盛んで、特に冬場はタラコの原料スケソウダラ漁とホタテの水揚げが浜を賑わしています。また、温泉も多く、町内には三十カ所以上の源泉があり、中でも全国でも珍

しい間歇泉のある町です。また、町内には幼稚園、小学校、中学校があり、鹿部町教育研究所の活動を中心に幼小中連携、一貫教育が推進され、合同の学校運営協議会でも、防災教育や情報通信機器のきまりなど何度も熟議が行われ、保護者、地域とともに子どもたちを育てる取組を行っています。

さて、今年度の夕陽会鹿部支会は、鹿部小学校、鹿部中学校の二校十八名に加え、鹿部町教育委員会一名の計十九名の会員で構成されています。昨年度は六月二十九日に鹿部町教育委員会教育長 川村利美様、夕陽会会長 藤川隆様、渡島支部副支部長 山内淳禎様をご来賓としてお招きし、支会総会・懇親会を盛大に開催いたしました。

児童数・教職員の減少により夕陽会の仲間も年々減少していますが、本会の目的でもあります。会員相互の親睦、そして母校の発展と地域の興隆を図るため、つながりを大切にし、鹿部町の子どもたちのために全力で支会の運営を行っていきたくと考えております。

令和元年度

夕陽会渡島支部各支会役員名簿

支会名	支 会 長		幹 事 長	
	氏 名	所 属	氏 名	所 属
松 前	岩 井 栄 一	大島小学校	近 江 辰 仁	松城小学校
福 島	井 上 嗣 仁	福島小学校	大 山 真由美	福島小学校
知 内	三 上 幸 喜	涌元小学校	鈴 木 健 二	涌元小学校
木古内	信 田 博 之	木古内中学校	金 澤 誠 一	木古内中学校
北 斗	加賀谷 正 明	島川小学校	吉 田 圭	島川小学校
七 飯	佐々木 理 之	七飯中学校	間 瀬 龍 生	七飯中学校
鹿 部	佐 藤 君 博	鹿部小学校	長谷川 美栄子	鹿部小学校
森	高 橋 吉 隆	駒ヶ岳小学校	武 内 貴 宏	駒ヶ岳小学校
八 雲	石 澤 修 介	落部中学校	阿 部 智 子	落部中学校
長万部	西 尾 聡	長万部小学校	附 田 勇 人	長万部小学校
五 陵	西 田 浩 人	渡島教育局	道 幸 篤 史	渡島教育局

令和元年度

夕陽会渡島支部役員名簿

役 職	氏 名	所 属
顧 問	高 橋 伸 夫	終身会員
	木 村 孝 一	終身会員
	福 井 伸 一	終身会員
	幕 田 真 二	終身会員
支 部 長	海 野 厚 二	上 磯 中
	小笠原 英 緒	大 沼 小
副支部長	山 内 淳 禎	野田生小
	白 石 眞 嗣	大中山小
監 査	佐々木 理 之	七 飯 中
	西 村 和 彦	久根別小
幹 事 長	渡 邊 聡	森 小
副幹事長	金 澤 力	藤 城 小
会計幹事	長谷川 美栄子	鹿 部 小
庶務幹事	雨 澤 啓 司	浜 分 中
	佐 藤 健	大 野 小
	浅 利 仁	大沼中・駒ヶ岳分館
広報幹事	中 野 聡	大中山小
	吉 田 圭	島 川 小

▶夕陽会渡島支部事務局◀
 〒049-2327 茅部郡森町清澄町27-1
 森町立森小学校
 渡 邊 聡
 電 話 01374-2-2113
 F A X 01374-2-6289

会 務 中 間 報 告

〔平成30年度〕

4月1日(月) 校長採用者・教頭及び主幹教諭昇任者へ祝詞を送付する

6月18日(火)

各支会現況調査依頼を発送する

6月20日(木)

渡島支部総会・大懇親会・新会員歓迎会案内を発送する

6月21日(金)

歓迎会案内を発送する

6月29日(土)

第3回支部役員会議案内を発送する

6月29日(土)

4月9日(火) 第3回支部役員会議案内を発送する

6月29日(土)

4月24日(木) 第3回支部役員会議を開催する

7月5日(金)

(大中山小学校)

7月5日(金)

〔令和元年度〕

5月11日(土) 令和元年度支部総会・大懇親会・新会員歓迎会を開催する

7月9日(火)

(ホテル法華クラブ函館)

7月10日(水)

106名参加)

7月11日(木)

大懇親会・新会員歓迎会の礼状を発送する

7月12日(金)

(小笠原支部長)

7月17日(木)

八雲支会総会・懇親会に出席する

7月19日(金)

(西村監査)

7月19日(金)

平成30年度第2回本部役員会に出席する

7月17日(木)

(山内副支部長)

7月17日(木)

(附属小学校)

7月17日(木)

小笠原支部長・渡邊幹事長)

7月17日(木)

村上尚教諭(萩野小)の結婚に伴い祝電を送る

7月19日(金)

本部総会・大懇親会案内を発送する

7月19日(金)

令和元年度版管理職・行政職名簿の校正を行う

7月19日(金)

令和元年度版管理職・行政職名簿の校正を行う

7月19日(金)